

## 平成28年度第8回景観審議会デザイン協議部会 会議要旨

### 1. 審議会（部会）の日時、場所、出席者、議事

(1) 開催日時 平成28年（2016年）10月28日（金） 午後2時00分～同5時00分

(2) 開催場所 宝塚ソリオカルチャー306会議室

(3) 出席者

・景観審議会デザイン協議部会委員

徳尾野部会長、岩井委員、三谷委員、大平委員、妹背委員

・事務局（都市整備部 都市整備室 都市計画課）

下野課長、志村係長、浜崎職員、山下職員

・事業者

議事① 設計者 株式会社一粒社ヴォーリズ建築事務所

議事② 事業者 社会福祉法人阪神福祉事業団

設計者 株式会社山田総合設計

(4) 議 事

議事① （仮称）チャーム宝塚中山新築工事

議事② （仮称）ななくさ育成園移転改築設計

(5) 傍聴者

なし

### 2. 会議の要旨

事務局： 本日の審議会（部会）は、委員5名の出席がありましたので、宝塚市景観審議会規則第6条第2項の規定により成立する旨を報告します。

会 長： 了解しました。審議を開始します。本日の署名委員は順番により、三谷委員と大平委員です。

会 長： 景観審議会運営規程第3条第1項の規定に基づき、本日の議事は全て公開となっています。傍聴者があれば入室を承認しますが、傍聴者はいらっしゃいますか。

事務局： いらっしゃいません。

☆☆☆☆ (仮称) チャーム宝塚中山新築工事 ☆☆☆☆

会 長： 今回の事業計画で景観上特に配慮された部分について説明してください。

設計者：

- ・ 計画地は、土地区画整理事業で整備された地域です。宝塚を外部から見た時の印象は、高級住宅地、洋風建築物のイメージが強くなりますので、今回の計画はスパニッシュ様式を取り入れたデザインとしました。
- ・ 計画地は、三方向が道路に面しています。周囲からは4m以上セットバックし、高さも三階に抑え、できるだけ圧迫感をなくすよう努めました。
- ・ 色彩や材質は茶系の暖色を使用し、温かみのある印象とし、周囲の山並みと対比しない色調とするよう配慮しました。外壁は吹き付けとし、一部タイルを使用する予定です。本日サンプルを持参しました。パースでは、少し黄色っぽく見えていますが、持参したサンプルの色を使用する予定です。

会 長： サンプルは立面図に記載されているマンセル値で作成されたものですか。

設計者： そうです。

委 員： 粒子もこのサンプルぐらいになる予定ですか。

設計者： その予定ですが、バルコニーの奥の壁面や人が接する可能性がある部分は安全面を考慮し、同じ色で粒子がほとんどないものを使用する予定です。粒子があることで素材感や陰影が生まれると思いますので、人が接する部分以外は粒子があるものを採用します。

設計者： 使用するタイルは、焼きむらがあるタイプのを三色混ぜて使用します。比率はまだ決まっておりませんが、YRのタイルを中心に使用する予定です。

委 員： 具体的な割合はどのくらいですか。9割5分ほどがYRになるイメージですか。

設計者： そうです。

会 長： このタイルは、一階のレンガの壁の部分に使用するものですか。

設計者：　そうです。エントランス周りの外壁と、東側の塀の部分に使用します。

委員：　図面では帯状のものがあるように見えますが、タイルの部分に帯をつけるのですか。この部分は違うタイルを使用するのですか。

設計者：　パースや立面図は、プリンターの関係で違う色のように見えていますが、同じタイルを使用します。デザイン的に一部タイルを縦貼りで使用します。エントランスには、ライムストーンの天然石を使用し、スパニッシュの赤い化粧瓦がほんの少し色が見える程度使用します。東面も食堂周りはエントランスと同じデザインとします。また、この地域は住宅地で勾配屋根が多いので、パラペット部分に勾配をつけ、スパニッシュ瓦を並べ周囲と調和するようなデザインにしたいと考えています。

委員：　焼きむらが多い瓦を使用されるのですか。

設計者：　そうです。焼きむらのある瓦で比較的赤みの強いものを多めに取り入れた色合いにしたいと思っています。

委員：　石州瓦を使用するのですか。

設計者：　その予定です。カタログの瓦を使用する予定です。瓦はアクセントカラーとして使用する予定です。

会長：　外構と植栽の計画はどのようになりますか。

設計者：　外構は、北側と南側で地盤の高低差が 50 cm から 60 cm ほどありますが、アプローチ部分のすり合わせ以外は土地の造成は行わない計画です。

植栽計画は、敷地境界線から 4m 程セットバックして建物配置を計画しており、なるべく緑地を多く配置する計画としています。また、落葉樹と常緑樹を混植し、四季が感じられるような計画にしました。具体的には、中木と高木は、葉の小さいメタセコイヤや、葉の大きいカツラを植え、コントラストが楽しめるよう工夫しました。また、グランドカバーはなるべく丈夫なもので、花が咲き四季の移り変わりが楽しめるものを植えます。

会長：　委員よりご意見やご質問があればお願いします。

委員： バルコニーの壁面には、エアコンの室外機と室内機を繋ぐパイプが、それぞれの居室の壁に出てくるのですか。

会長： 屋上のアルミのルーバーで囲われている部分に室外機を設置するのではありませんか。

設計者： 屋上には共用部分で使用する空調の室外機を設置します。各居室は、個別にエアコンを設置する予定です。

委員： 個室が多いので、それぞれの部屋で室外機の配管が見えるような計画は景観上良くないと思います。最初から解っているのであれば、何か手立てを検討してください。

設計者： 計画では、配管は外壁には露出しない予定だったように思います。担当者を確認し、屋内側に配管し、バルコニーの手摺りよりも下で接続するよう検討します。

委員： 柱の横にパイプスペースを造れば、外壁にカバーがなくなり綺麗に収まると思います。

会長： パラペットの瓦は、遠景では見えますが前面道路からはほとんど見えないように思います。パラペットの勾配は、どのように検討されて決めたのですか。

設計者： 計画当初は、近景でも見えるようパラペットを高くすることも考えていたのですが、パラペットのためだけに建物の高さが高くなるのは近隣住民のことを考えると良くないと考えました。また、前面道路から見えるようにするためには、パラペットをかなり急勾配にしなくてはいけないので、そうなるのとまた、高さが高くなってしまいますので、周辺環境を考慮し、遠景で見えるよう配慮し、この形状になりました。

会長： 地区計画の基準に「勾配屋根にすること」という基準がありますので、パラペットに勾配屋根を設けられたのではなく、遠景からのアクセントという意味で瓦屋根を設けられたのですか。

設計者： 四角い建物と比較した時に、このように屋根を回すことでアクセントになりますし、優しい印象になればよいと考え、このような屋根を設けました。

委員： せっかく勾配屋根を設けているのに、バルコニーの庇の先端が突出しているので、道路を歩いている人からは屋根が見えにくいと思いますので、デザインを生かし切れず勿体無く感じます。

設計者： バルコニーの際まで勾配屋根の瓦があると外壁が汚れてしまうことや、軒樋が必要になるなど、デザイン的な面も考慮し、少し内側に勾配屋根をつけて、落ち着いた雰囲気になるようにしました。

委員： 屋外階段が三階まで続いており、階段の蹴上げの部分が外壁と同じ色のように見えますが、階段の蹴上げは実際どのような仕上げになりますか。

設計者： モルタル仕上げを予定しています。塗装することもできますので壁と同じ色にすることも可能です。

委員： 三階のパラペット屋根が一部欠けている部分は、どうなっているのですか。

設計者： 屋上への上り口ですので、格子状の門扉を設置します。

委員： この部分は屋根が切れているのですか。

設計者： そうです。斜めにはなっていますが、防水の立ち上がりはあります。メンテナンス時に屋上に上がる際には、立ち上がりをまたぐかたちになります。

委員： バルコニーの先端の鼻先は立ち上がりがあるのですか。

設計者： 少し立ち上げます。

委員： パラペットの先端には樋を設けるのですか。

設計者： 樋は設けません。水勾配は内側にとっていますので、バルコニーの内側に落とすよう計画しています。バルコニーのスラブとバルコニーの手摺り、バルコニー先端の化粧柱を格子状にするデザインとしており、縦樋は見えにくくなるよう配慮しています。

委員： 施設の規模に対して駐車場が少ないように思います。エントランス前や道路に駐車車両がでないか心配です。

設計者： 事業主は、これまでも同様の施設をいくつも経営されていますので、既存施設での駐車状況を参考にし、必要な駐車台数を決めました。施設の車もありませんし、従業員は基本的に徒歩、バイク、自転車で通勤する予定ですので問題ないと思います。

委員： 計画されている駐車場は来客用という事ですが、来客者は道路を通り建物のエントランスへ向かうということですか。

設計者： 西側の隣地境界と建物間のスペースを通過してエントランスまで行くルートを想定しています。

委員： 来客者が西側の駐輪場などがある部分を通るのですか。

設計者： その予定です。

委員： 北東角のスロープはどのような場合に使用するのですか。

設計者： 北東角の屋外階段が避難経路ですので、スロープも避難通路として使用します。スロープは、非常時以外は使用する予定はありません。また、スロープ横のフェンスと植栽で囲ってある食堂の前庭は、入居者が出入りできるようにはなっていますが、この部分も通常の出入りは想定していません。

委員： 駐車場は、普段は駐車車両がなく芝生の緑が見える状態ですか。それとも常時車が停まるのですか。

設計者： 来客用の駐車場ですので、既存の施設を参考にすると、一日中常に駐車車両があるわけではなく、むしろ空いていることの方が多くなると思います。

委員： 駐車場付近は、スペースがあまりないので難しいのかもしれませんが、駐車場の道路側に植栽を配置することはできませんか。

設計者： 道路側にスペースを設けるにしても、あまり広いスペースは設けられませ

ん。計画では建物に沿って細い緑地帯を配置しているので、それを道路側に移動させることは可能ですが、そうするよりは建物側に植栽帯がある方が景観上も良いのではないかと思い、このような計画としています。

委員： 薄い緑地帯なので、道路際に寄せて貧弱になってしまうよりは、建物側にある方が良いということですか。

設計者： そうです。駐車場沿いの植栽は、成長するとボリュームの出るマツバギクを計画しており、幅の狭いスペースでも量感が出せると思います。道路沿いに緑地が取れない分、少しでも緑の量感が感じられるよう努めました。西側の敷地境界沿いにも植栽を配置したかったのですが、隣地の所有者から、植栽は植えず、目隠しフェンスのみ設置して欲しいとの要望があり、西側には植栽は配置していません。

委員： 駐車場を視覚的に優しく見せるために、駐車場の両サイドにあるボックスウッド、ヒラドツツジの代わりに、ソヨゴの株立ちなどを植えられると良いと思いますが、スペース的に難しいですか。

事業者： 植栽帯が 30 cm程しかなくスペースが狭いので、成長すると枝が広がって駐車車両に当たってしまい苦情がでる可能性があります。そうなれば、伐採せざるを得ないので、根が張るスペースを考慮すると、小さいものを植えた方が良いと考えています。高木は、見通しも悪くなりますので、安全性も考慮し、このような計画としています。

委員： 従業員は何名の予定ですか。

設計者： 厨房スタッフを除き、昼間は 10 名、夜間は 8 名の予定です。

委員： 従業員の出入口はどこですか。

設計者： 南側の中央付近、事務室の左横にある扉から出入りする計画です。

委員： 事務室を経由して施設に入るのですか。

設計者： そうです。

会 長： 外観についてですが、一階のエントランス、ロビー、食堂の周囲のレンガ貼りの壁は、どういう意図で設計されているのですか。

設計者： 食堂は、できるだけ開口部を取り入れたいと考え、全面ガラスにしていますが、近隣の方のプライバシー等に配慮をするため、ブラインド的な効果を考え、壁を設置しています。エントランスのデザインを連続させ全体的な調和を図っています。

会 長： エントランスのデザインは、参考に見せていただいた他の施設のデザインと似ているように感じたのですが、チャーム高齢者施設のシリーズで統一されたデザインなのですか。

設計者： 特にシリーズ化はしていません。

委 員： 食堂前の壁もコンクリート造ですか。

設計者： そうです。レンガの壁を連続したデザインで配置した理由の一つは、低層部に濃い色を持ってくることで、建物の安定感を出し、圧迫感を抑える効果を狙ったものです。全周に廻せばよかったのですが、それは難しかったので、ある程度連続性が出せるよう壁を配置しました。

委 員： 窓のアルミサッシの色は何色ですか。

設計者： 濃いブロンズです。

委 員： バルコニーや手すりも同じですか。

設計者： 同じ濃いブロンズです。

委 員： 植栽計画は、季節感が感じられるよう上手く計画されていると思います。一つ気になるのは、メタセコイヤは成長が早く枝葉が落ちるので問題になることがあります。事業主はその点についても理解したうえでメタセコイヤを選定されたのですか。

事業者： 提案させていただき、特にご意見はありませんでした。高さは、メンテナンスで高くならないようにすることができます。落ち葉対策について、事業



主から意見があれば、違う樹種を提案させていただこうと思います。

委員： 事業主もメンテナンスが必要だという認識はあるということですか。

事業者： そうです。

委員： 低木、グランドカバーは、花の付くもので覆われる計画ですが、例えば、入所者用の花壇を設置するような利用方法は、検討されていないのですか。

設計者： 入居者が直接触る花壇などは計画しておりません。

委員： ロビーから見える位置に、車いすを利用していても見えるよう花壇を配置すると良いと思います。

設計者： ロビーから見える位置に花壇を配置できれば理想的ですが、管理や安全上のことを考えると難しい状況です。庭へは全く出入りできない訳ではないのですが、入居者が直接植栽を手入れすることは考えていませんが、屋外で観賞することは可能です。

委員： 駐車場からエントランスへ向かう来客の動線は、西側を通ると説明がありましたが、この部分はカラーアスファルト舗装ですか。もう少し明るい感じになるよう工夫された方が良いと思います。

設計者： できればそうしたいのですが、予算的に難しいです。

委員： 西側隣地は空地になっていますが何が建つのかご存知ですか。

設計者： 特に聞いておりません。

委員： 建設予定がないのに、植栽は植えないで欲しいと要望があったのですか。

設計者： 理由は確認していませんが、地主から植えないで欲しいとの要望があったので、そのようにしています。

会長： いろいろな意見が出ましたが、パラペットの瓦屋根がもう少し活かせるようなバランスをもう少し工夫していただきたいと思います。また、外壁に出

てくるエアコンの配管について確認をお願いいたします。

設計者： わかりました。

委員： 非常階段の蹴上の色についてもご検討いただきたいと思います。

設計者： 屋外階段の蹴上げの色も検討します。

会長： それでは、議事1については、これで協議を終了します。

☆☆☆★ （仮称）ななくさ育成園移転改築設計 ★☆☆☆☆

会長： 今回の事業計画で景観上特に配慮された部分について説明してください。

設計者：

- 計画地の北側の半分に1期工事として四階建ての建物を計画しており、南側は将来の増築スペースとして確保しています。
- 東側の道路と北側の緑道と西側の市役所用地に面して、緩衝帯として緑地スペースを設け、建物をセットバックさせ、圧迫感を軽減した計画としました。
- 東側道路からアプローチする計画です。東側道路沿いには中低木を植樹し、歩道からの見え方に配慮し、正面にはシンボルツリーを植樹したふれあい広場を設けます。
- 市役所用地に対してはセットバック距離を大きめにとり、日影の影響をできるだけ抑え、また、駐車場は緑化を行います。
- 建物計画は、一階に共用管理エリアを設け、二階から四階を居住エリアとし、各階には、居室、食堂、浴室、訓練作業室を設け、43から44名程度の方が生活されます。
- 居室の配列を工夫し、建物の外観を特色あるものとしています。各居室の居住環境に配慮し、居住スペースは南側及び武庫川河川敷側に配置しています。居室は直線的に並べずに方位を変えながらリズムよく配置することで、外壁面に凹凸を与え、大きな壁面ができないよう分節化しました。
- 市役所庁舎に調和する色彩計画とし、落ち着きと温かみのある計画とし、

1階部分は一部タイルを使用し、質感を高めました。

- バルコニーは外壁と異なるブラウン系のアクセントカラーとし、手すりはガラスを使用し、水平方向に建物を分節化させました。屋外階段についてもバルコニーと色彩を合わせ、化粧ルーバーを部分的に設置し、アクセントとしました。
- 東面の道路側と河川敷側の居室上部に分節した勾配屋根を設け、軒先の建物高さを控え、スカイラインにリズムを与えるデザインとしました。
- 室外機等の設備機器は、バルコニーの手摺りで見えない位置に配置し、手摺り高さを越えるものは、化粧ルーバーで目立たないように配慮します。また、屋上に設置する大型空調機器は周囲に目隠しルーバーを設置し、景観に配慮しました。

会 長： 委員よりご意見やご質問があればお願いします。

会 長： 2期工事でどのような規模の建物がどのあたりに建つのか、全く情報が無い状態でデザイン協議を行うのは難しいです。2期工事について、ある程度検討されていると思いますので、変更等がでるとは思いますが、計画を教えてください。2期工事のボリューム、外観、外構計画は、どのような計画ですか。2期工事の予定がないのであれば、県道側の外観なども、もっと景観に配慮した計画とするようご意見することになりますがいかがですか。

事業者： 設計できていません。渡り廊下を造る計画はありますが、今回の工事が終わってから2期工事の設計にかかる予定ですので、2期工事の際にもう一度、ご審議いただきたいと思います。

委 員： 着手時期も未定ですか。

事業者： 設計は、早くても平成32年頃からになります。今回の工事を来年の10月から再来年の3月にかけて行いますので、その後設計する予定です。

会 長： 数年の間は更地の状態が続くのですか。

事業者： そうです。県道側については宝塚市からも色々ご要望を聞いていますので、その件については、2期工事の際に合致するよう設計する予定です。今回の審議は1期工事の計画のみ審査していただくようお願いします。

委員： 2期工事の設計段階で、計画が良くないので修正してくださいと意見させていただいてもよいということですか。

事業者： 建物の変更は困ります。

委員： 今回の計画は、2期工事の敷地も含めた敷地設定です。2期工事のボリュームだけでも教えていただき、お互いに前提条件を確認した上で協議したいと思います。2期工事では、このようなものが建つ予定なので、1期工事はこのように計画にしましたと説明していただきたいと思います。

事業者： 配置計画だけでも良いということですか。

委員： 配置計画だけでもあれば、随分違うと思います。

事業者： 先ほども申し上げましたが、2期工事の設計は全くできていませんので、配置図に四角を記入する程度になると思います。

委員： 2期工事も、基本的には同じデザインポリシーで、規模も似たようなものが南側にも建つとあっていいですか。

事業者： 1期工事は障害者施設ですが、2期工事は厚生施設です。3階建て程度の建物を想定しています。

会長： どのような前提で議論を進めればいいのか、こちらも困ります。

事業者： 増築予定という事だけで、本日の審議はできないのですか。

委員： 設計者は、増築する建物の事もある程度想定しないと、設計できないと思います。我々としても、ある程度の計画を理解した上で審議をしたいと申しあげているだけで、2期工事について、計画を固定し、変更があった場合に、どうこう言うことはありません。概要を教えていただきたいと思います。

設計者： 簡単な配置図はあります。これは簡単なもので、設計というレベルのものではありません。

会長： 設計者は、それを手掛かりにして今回の建物を設計されており、おそらく

渡り廊下の位置なども、ある程度決まっているのだと思います。

設計者： 将来計画を想定したうえで、配慮した計画としています。

会 長： ふれあい広場の位置なども将来計画を想定されて決めていると思いますがどうですか。

設計者： 要望があり、中庭を建物で挟み込むような形状を計画しています。

事業者： 2期工事は、この1期工事が条件になりますので、2期工事の設計の時には問題がでないよう設計を行います。

委 員： 空間構成として、武庫川側と東側は非常に丁寧にブレイクダウンを検討され、うまく計画されていると思います。しかし、南側はあまり景観への配慮が感じられません。これは、2期工事の建物配置の想定があるので、このような形状になったと説明していただければ、すごく理解しやすいと思います。

委 員： 屋根のかけ方の基本方針を解りやすく説明してください。屋根が全部にかかっているわけではなく、切妻屋根が有るところと無いところが混在していることについて、基本方針を説明してください。

設計者： 今回は、敷地北側に4階建ての施設を建てる計画ですが、東側道路側と河川敷側は、分節化しています。この部分にリズムよく勾配屋根を設け、特に武庫川からの遠景での景観は、切妻屋根がぼんぼん見えるような形とし、居住施設らしさを表現したいと考えました。

南側は、2期工事の予定もありますし、コストや排水処理等の問題もあり、勾配屋根は設置していません。2期工事も我々が設計を担当することになりましたら、南側の県道側にも勾配屋根を設け、建物全体の統一性を出したいと考えています。

会 長： 基本的には南北方向に、切妻屋根を設ける予定ということですね。

設計者： 県道側は敷地と少し角度がついていますので、我々が設計するのであれば、屋根の向きも考慮して設計したいと思います。

委 員： 今回の計画は、南側には切妻屋根を掛けないということ、中庭が2期工事と

の取り合いでどのような計画になるのかが大きなポイントになると思います。2期工事が3階程度の建物になるのであれば、中庭が少し狭いように思います。

設計者： 次の工事も考え、現段階では広場は小さめに設計しています。将来的にはシンボルツリーが真ん中に来るような広場を考えています。ただし、2期工事では県道側からの建物のセットバックもあると思いますので、バランスを見て決めていきたいと思います。

会長： 東側隣地の商業施設は、県道からセットバックして建っているのですが、デザイン協議部会の意見としては、道路沿いの壁面を連続させ、道路沿いの景観を造って頂きたいと思っています。今回の計画地もそのように県道側の景観を形成していただきたいと思っています。また、末広公園から緑量のある街路樹が続いていますので、連続して緑を植えていただきたいと思っています。

設計者： 道路側に一定の緑地を確保したうえで、壁面の連続性に配慮した計画にしたいと思っています。

会長： 河川側は、緑量も多く、景観にかなり気を使って計画していただいているのは評価しますが、県道側の緑地は気になります。県道側の景観についても、配慮した計画としてください。

会長： 色彩については、基準値内で計画されていますが、委員から意見を願います。

委員： 屋根の色は、計画されている2.5R6/6は、紅系の赤でパープルが入っていますので、かなり退色する色です。頻繁に塗り替えを行わなければ、景観的に見苦しくなってしまうと思います。また、色そのものも、明るいピンク系で周辺の建物と比べてもピンクがきつく感じます。もう少しYR系に寄った色で、かつ、明度を落としたものを推奨しますので、再度検討してください。

設計者： 検討します。

委員： エレベーションで見た時に、バルコニーの鼻先の色ですがコントラストがきつすぎるように感じます。屋根を分節化され、優しく見えるよう工夫されているのに、この横のラインがきつすぎて、分節化した良さが消えてしまっ

ているように感じます。もう少し馴染んだ優しいコントラストを検討してください。

設計者： 現状ではサンプル帳の中で検討していますが、大きなサンプルなども見て再度検討したいと思います。現段階でも、見直すところはもう一度検討したいと思います。

委員： 1階の外壁、柱型の 2.5Y R 5/4 で塗装仕上げをされる部分は、赤みが強いように感じます。外壁のベースカラーはいいと思いますが、アクセントに使用される色が、全体的に赤みが強い色を選ばれているように感じますので、再度検討してください。

設計者： この部分の色は、エントランス廻りで使用するタイルと同色を選定しているのですが、材質が異なると色味を合わせるのが難しいと感じています。塗料の部分は退色することも考慮し、再度検討したいと思います。

会長： この地域では市役所庁舎がデザインの基準になっています。色彩については、庁舎の外観を参考にし、並べても違和感のないようなデザインを検討していただくようお願いします。

委員： 市役所庁舎は色彩の構成が優しいと思います。今回ご提案いただいたデザインは、凛々しい感じがしますので、もう少し優しいイメージになるよう検討してください。

委員： 西側だけ窓に目隠しルーバーを設置されていますが、西日避けのために設置されるのですか。

設計者： 西側には浴室や洗濯室などを配置しており、設備機器が出てくるので、目隠しのためにルーバーを設置しました。

委員： どのような材料ですか。

設計者： アルミ製で、木目調の焼付塗装を施しています。

委員： パースで見ると黄色く見え、立面図だとかなり焦げ茶色に見えるのですがサンプル写真が現物に一番近いのですか。

設計者：　そうです。

委員：　木のイメージを外観に取り入れるということですか。

設計者：　そうです。

会長：　各部屋のエアコンの室外機は、ルーバーの裏側に設置されるのですか。

設計者：　基本的には床置きですので、手すりの高さは超えないよう設置し、外から直接見えないよう配慮します。

委員：　室内機は天井近くにあり室外機との間をドレインで繋ぐので、それぞれの居室の外壁に配管が見える形になるのですか。

設計者：　スリムダクトでカバーする予定です。

委員：　カバーが各部屋の外壁に、全て出てくる計画ですか。最初からわかっているのですから、景観上の配慮が必要だと思います。

設計者：　隠ぺいすれば綺麗になりますが、機器更新の際に不都合があります。また、障害者の施設ですので、壁に突出物を設けると壊される恐れがあると聞いておりますので、屋外の配管としています。

委員：　樹脂製のカバーではなく、建築的なもの、デザイン性のあるものを検討していただきたいと思います。

設計者：　機器の更新や、コスト面、また数も多いので難しいです。

委員：　逆に、数が多いために見苦しくなりますので配慮していただきたいと思います。壁のタイルの色についての議論より、配管の方が大きな景観阻害要因だと思います。建築的な措置でカバーに代わるものを設置することはできませんか。アルミの形材など既製品を上手く使えば、コストはそれほどかからないのではないかと思います。

設計者：　金属工事になりますと単価が高くなるので難しいと思います。



委員： 前向きに検討をお願いします。

委員： 本日持参されたサンプルはどの場所に使用するものですか。

設計者： バルコニーの鼻先の部分のサンプルです。塗装で仕上げる予定です。

委員： 一階の外壁タイルは 3 色ほど混色されるようですが、混合比は持参されたサンプルのような混合比ですか。

設計者： そうです。

委員： 植栽計画についてですが、河川側、東側は道路から見える部分については、東側の隣地の緑地帯と一体的に、緑が連なるよう計画していただいているように思いますが、県道側は高木しか計画されていないようですので、歩行者の目線も考慮し、低木や中木も混ぜて、立体的に緑を配置して頂きたいと思えます。

もう一点は、施設の利用者がどのように快適に過ごせるのかという視点で、ふれあい広場などには、入居者が直接触れられる位置にも緑があった方がよいと思えます。シンボルツリーの他にも、建物際には低木を植え、そこにも近づける方がよいと思えます。また、シンボルツリーの樹種は記入がありませんが、ケヤキやクスノキは大きくなると枝張りが 10m を超えますので、計画されている広場のサイズですと、樹木でいっぱいになってしまうと思えます。広場の大きさは、20m 四方以上は確保していただき、グランドカバーや低木を植え、芝生も検討していただき、緑を楽しみ、触れ合えるスペースにしていきたいと思えます。

建物の中にも坪庭のようなスペースを設けられていますが、可能であればアオキやカクレミノなどの低木や、タマリユウなどのグランドカバーがあるだけでも、見た時に非常に落ち着く空間になりますので是非検討してください。

また、参考図では、市役所側には高木が多く配置されていますが、市役所の緑地計画は決まっているのですか。

事務局： 市役所側の緑地計画は設計中です。この辺りが緑地帯になると聞いていますが、どのくらい高木が植えられるかはわかりません。

委員： 市役所内の緑地計画は気になる部分です。市役所敷地内は散策できる道ができ、一般の方が出入りする場所になると思います。計画建物は西側に調理室や浴室などが配置されているので、散策路から建物の裏側が見えてしまうと思います。計画では、西側は低木のみを配置される予定ですが、駐車場と建物の間に高木を入れた方が良くと思います。境界沿いに高木を植えた方が良いのか、境界沿いは低木とし、建物沿いに高木を植えた方が良いのかは駐車場との取り合いもありますので検討していただき、どちらにしても西側には常緑のシラカシなどの高木も植えて頂くと良くと思います。

設計者： 植栽については、再度検討したいと思います。

委員： 室内にいる時に、光と緑が見えると景色がとても変わり印象が良くなります。中庭の窓際に緑が顔を出して見えるような工夫をして頂くと、とてもよくなると思います。例えば、寝たきりの方はベッドからは空しか見えないので、そういう意味でも、建物沿いに高木植えて頂くと良くと思います。建物の内部からも緑が見えるよう検討してください。また、ふれあい広場では、緑と触れ合う活動ができるよう検討してください。

委員： 県道は車の通行量が多いので、ドライバーの目線を遮る高さに枝張りが大きくなるような樹種は避け、安全性を考慮して樹種を選定していただきたいと思います。

設計者： 検討します。

委員： 県道側は、緑地の幅を取っていただき、歩行者から見た時は、低い植栽からだんだんと高木が見えるような計画としてください。枝張りのある樹木は、道路少し離れた内側に植えていただくと良くと思います。

委員： 建物の入隅部分が全て斜めになっているのは何故ですか。

設計者： 部屋の間口が小さいので、必要な採光面積を確保するために壁を斜めにしています。

会長： 色々な意見が出ましたが、特に色彩の件は重要ですので、次回の協議の際に検討結果を提示してください。また、2期工事について、建物のボリューム、県道側の植栽計画、壁面のおおよその位置等についても資料の提出をお

願います。

事業者： 先ほども申し上げましたが、2期工事については設計ができていませんので、配置図に四角く表現する程度の図面しか用意できません。

委員： そのように2期工事の図面の提出を拒まれる理由がわかりません。今回の設計をするにあたり、2期工事の想定が全くないということは絶対にはずです。何故それを我々に見せていただけないのか、理由を教えてください。

事業者： 見せられないという事ではなく、設計ができていないということです。2期工事についてはまだ図面がありません。

委員： 2期工事については、今後計画に変更が出て構いません。今回の工事の前提条件を確認し、お互い共有したうえでデザイン協議を進めていきたいと申し上げています。前提条件に変更が出たからといって、それについて後で責めるようなものではありません。

事業者： 特に県道沿いと、隣の建物との関係が知りたいということですか。

会長： ボリュームを提示していただければ、2期工事について、壁面の位置など、いくつかのアドバイスや、このような配慮をしていただきたいということを伝えられると思いますので願います。

事業者： 立面図は難しいですが、配置図だけでも持ってこられるように努めます。

委員： 外構計画について、県道からどのようにアクセスするのも口頭で結構です。教えていただければ、緑地の配置も提案できると思いますので願います。

会長： 議事2については、これで協議を終了します。